

平成29年度 飯田小学校 学校評価だより

(最終結果報告) 平成30年3月12日発行

心をあわせ、はつらつと学びの道にいそしむ児童の育成

取組に工夫をしたものも、実践していきます。

さらには上を目指してひとがんばり、今後も、学校・家庭で連携して取り組みましょ

確かな学力の追究

学びが楽しい学校づくり …評価 B

子ども達が元気に学校へ登校する条件の一つとして、子ども達にとって「学びが楽しい・勉強が分かる」と感じられることが挙げられます。

児童の肯定的回答「楽しい」は約76%、「だいたい楽しい」は約17%で合計が93%でした。保護者の目線からだ「意欲的に登校」は約65%、「概ね意欲的に登校」は35%で合計100%でした。わずかに否定的な児童がいるので、注目して個別に指導していく必要があると思います。アンケート調査時期による違いが見られることがあるので、油断は禁物。今後も、児童が安心して通える学校を目指します。

主体的に課題解決する児童の育成 …評価 B

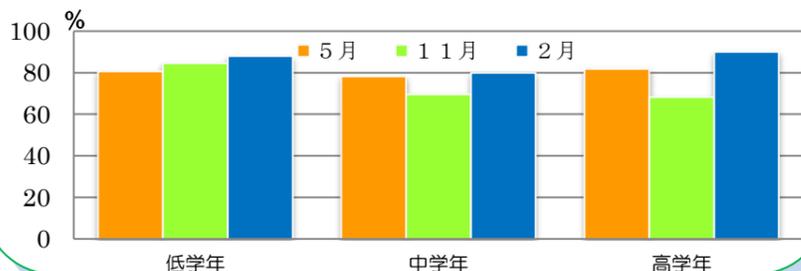
本校の学校研究の中で継続して、「主体的に学び、課題解決へとつながることができる児童の育成」に取り組んできました。児童アンケートの結果は、高学年は肯定的意見が94%と高めですが、低学年は75%でした。低学年でも、学んだことを他に生かしていますが、児童に意識させることをしていないためと考えられます。低学年にも、生活科でカードを書く場面等で国語で勉強したことを生かして書こうなどの意識化を図っていく必要があります。

《児童アンケート》「単元で学んだことを他の課題に生かしたか」肯定的84.3%
《教職員アンケート》「児童は課題を見つけてノートに書いていたか」肯定的90%

家庭学習の確立 …評価 A

保護者と連携し、子ども達の学習習慣を確立するために、家庭学習の習慣化に向けた取組を行ってきました。昨年度から、緑丘中学校校区内小学校・中学校連携の取組があり、さらに市教育委員会からのものもあり、保護者の皆様には大変お手数をおかけしたと思います。熱心に取り組んでいただきありがとうございました。学校としましては、宿題の出し方や内容を考慮し、自主学習の在り方を指導していきます。(下グラフは低中高別の時間達成の割合です)

【学年目標:高学年…60分以上 中学年…40分以上 低学年…20分以上】



心の豊かさの追究

道徳教育の充実 …評価 C

道徳教育の充実に関して、児童のアンケートは「人が困っているときは、進んで助けている」とし、教員のアンケートは「道徳の授業では、殆どの時間、振り返りを書いて、ノートに貼っている」として実施しました。

児童は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が約88.5%でした。低学年が低下しましたが、高学年で見ると100%になっています。

職員の取組については、今年度から、道徳ノートを作成し、シート作成したり、書きこみをしたりして、何らかの形で、振り返りを欠かさず書くことができ、100%の結果となり、ほぼ、習慣化されています。

《児童アンケート》「人が困っているときは、進んで助けている」では、

- ・そう思う……………低:約58% 高:約66%
- ・どちらかといえばそう思う…低:約19% 高:約34%

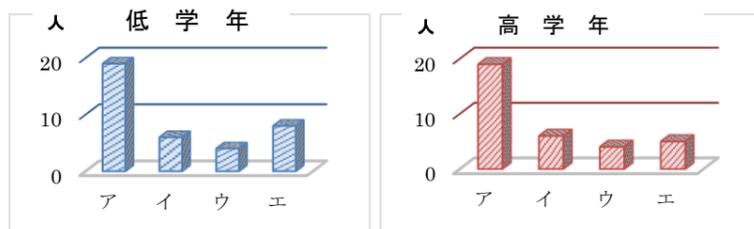
読書活動・図書館利用の充実 …評価 C

読書推進として、年間目標を設定して取り組んでいますが、低学年は冊数による目標を、高学年はページ数による目標を掲げました。

本校では、読書ボランティアさんが月に2回程度来られて、読み聞かせや本の紹介などを行ってくださいます。子どもたちは読み聞かせが大好きで毎回楽しみにしています。また、図書委員会を中心に、様々な取組も行い、取組をした時は、読書の冊数も増えました。

1月末現在の値から評価をしましたが、ここ数年低い評価が続いているので、学校評議員の方から、「高判定をもとめるわけではないが、児童の現状や社会の様子を考えて、冊数や頁数を考え直す時期ではないか」とのご意見もいただきました。

- 年間目標値
- ア 低学年:100冊 高学年:10000ページ
 - イ 低学年:75冊 高学年:7500ページ
 - ウ 低学年:50冊 高学年:5000ページ
 - エ 低学年:50未満 高学年:5000未満



評価…A(できた) B(概ねできた)
C(どちらかというときできなかった) D(できなかった)

いつも本校の教育活動にご支援をいただきありがとうございます。1月に行いました児童・保護者・職員アンケートの結果をもとに、最終学校評価を行いました。その結果について、お知らせ致します。学校では職員一丸となって教育活動を進めてきました。子ども達にも、1年間で大きな成長がありました。その姿から職員は逆に元気をもらっていたように思います。

今後はさらに、皆様の声や学校関係者のご意見を指標として、よりよい学校づくりを進めて参ります。「子どもたちの健やかな成長」のためにご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

また、これまで、PTAの皆様には親子行事やおはよう挨拶運動など、様々な活動を実施していただきました。読書ボランティアや長寿会パトロール隊など地域の方々にも支えていただきましたこと、感謝申し上げます。

健康・安全の豊かさの追究

規範意識を高める …評価 B

健康・安全の豊かさの追究の1つとして、いじめ防止基本方針に基づいた、いじめ・不登校防止の対策をあげています。飯田小の生徒指導の合言葉「これだ」を使い、「交通安全」「礼儀」「だめなことはダメ」を年間通じて指導しています。また児童の実態に応じて、毎月、生活委員会が自分たちの良さを伸ばし、苦手なことを意識して直せるようにと児童会生活目標をたて、全校児童で目標が達成できるよう呼び掛けています。

《児童アンケート》「児童会生活目標が守れましたか」肯定的91.5%

《保護者アンケート》「学校は、いじめや暴力行為のない学校づくりに努めている」肯定的98%

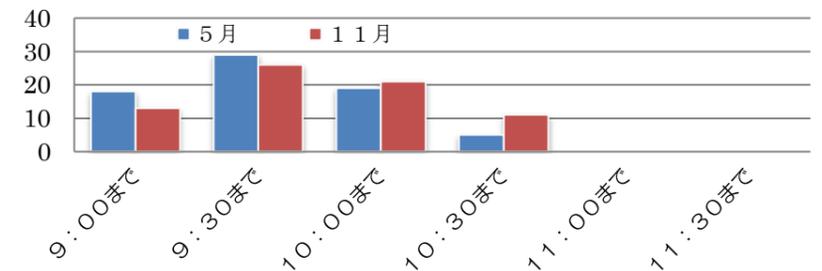
自己健康管理能力の確立 …評価 B

「早寝・早起き・朝ごはん」の合言葉のもとバランスアップカードによる取組を学期毎3回で基本的な生活習慣が確立されるよう進めてきました。児童と保護者の間で相談して設定した目あてに対する評価です。昨年度もそうでしたが、本校は、市内他校と比較すると好ましい状況にあります。ぜひ維持していただきたいです。

《起床時刻》

人数	昨年度5月	5月	11月
6:00まで	11	14	4
6:30まで	49	40	34
7:00まで	11	17	27
7:30まで	0	0	6
8:00まで	0	0	0

《就寝時刻》



1月保護者アンケートの結果

A: そう思う B: ややそう思う C: あまり思わない D: 思わない E: わからない等 AB%: (A+B)/(A+B+C+D)

アンケート項目	A	B	C	D	E	AB%
1 学校が発信する各種便りやホームページはわかりやすく、学校の様子や教育方針を伝えていると思いますか。	44	26	1	0	0	99%
2 お子さんは、学校へ意欲的に登校していますか。	46	25	0	0	0	100%
3 先生はわかりやすい授業に努めていると思いますか。	36	28	3	1	2	94%
4 お子さんは家庭学習の習慣が身についてきていると感じますか。	15	36	16	4	0	72%
5 学校では、適切な宿題を出していると思いますか。	26	36	6	1	2	90%
6 学校では、学校評価アンケートや学級懇談会などを通して、保護者や地域の思いを受けとめ、よりよく改善しようとしているように感じますか。	28	32	3	1	5	94%
7 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに努めていると思いますか。	39	25	1	0	6	98%
8 子どもに思いやりの心や礼儀を大切に育ててきていると感じますか。	29	37	4	0	1	94%
9 子どもに読書に親しむ態度が育ってきていると感じますか。	24	23	20	2	2	68%
10 児童は、しっかりとした挨拶や返事ができていると思いますか。	28	36	7	0	0	90%
11 お子さんは、早寝・早起き、朝ごはんを食べるなど規則正しい生活をしていますか。	27	37	7	0	0	90%
12 保護者とともに関心した「家庭生活の約束」の達成の度合いはどうか。	19	44	6	2	0	89%

1 2 「家庭生活の約束」について自由記述より

- 家庭生活の約束が強制にならないように(上手にほめたり優しく嬉しく受けとめたり)してあげられなかったかもしれませんが、大雪の時の車の掘り出しやお皿洗いを3回ほどしてくれました。子どもなりに忙しい毎日です。
- 自ら、いろいろなお手伝いをしてくれて、とても助かっている。
- 忘れ物をしたかどうか家で評価できない(うそをつく)
- 次の日の準備はほぼ本人に任せていたので、抜けていることも多かったのではないかと感じます。時々尋ねると〇〇忘れて見せてもらったという事もありました。
- 教科書の準備などは当たり前のように準備するようになった。
- 会話をする時間が短いけれど有意義なものになりました。
- まだまだ1人で準備する事が身につかず、大体一緒に確認しながら準備しているのが現状です。すすんで自分から準備ができるように、これから心掛けていきたいと思えます。

1 3 全般を通じた自由記述より

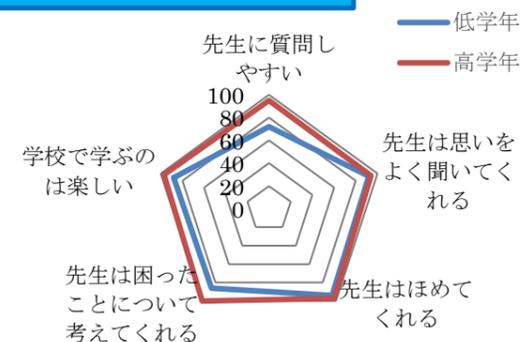
- 学校も忙しく、家庭も仕事も忙しい毎日だと思います。いつも何か宿題が目の前にぶら下がっているようで心を失くしているような気がしています。(私達保護者が自分たちのことで他の保護者ではありません)1年間のスケジュールをこなすことだけで手いっぱいになります。金子みすゞのようにいきませんね。
- 「宿題多いから終わらない!」と取り組もうとしない。泣きわめく。やろうとする習慣がうまくつかない。
- 友達同士や、たまに先生への言葉使いが大丈夫かな?と、児童クラブお迎えの時など気になることがありました。(例えば、「先生さようなら」と、すてゼリフのように言ったり)。また、学活の時間などで、みんなで考えて言葉の大切さを理解してもらえればよいと思います。
- 春の各学年行事を廃止してほしい。6年生の親子スキーも。修学旅行だけで充分と思う。(役員の負担は)バザーと運動会だけでよいと思う。
- バザーにおいて6年生が行うゲームコーナーは下級生や幼児を相手として考えられていると思いますが、景品に対して支払う金額が大きすぎることに違和感を覚えます。バザーや卒業を祝う会等、「PTA活動は全員で!」と言われるようになった気がしますが、役員でできることまで全員に呼びかけるよう言われる等、いたずらに全員に呼びかけることが増えると困ります。
- 夏休み中の登校日に授業を進めたと子どもたちが言っていた。欠席者もいたようだった。授業を進めるならば、事前に連絡があるとよかったと思う。
- 家庭学習については、宿題を行うだけで日々の学習時間が精一杯です。
- 特にありません。いつもありがとうございます。

教職員の自己評価

	本年度の重点目標	自己評価
1	学びが楽しい学校づくり	B
2	主体的に課題解決する児童の育成	B
3	家庭学習の確立	A
4	道徳教育の充実	C
5	規範意識を高める	B
6	読書活動・図書館利用の充実	C
7	特別支援教育の充実	B
8	自己健康管理能力の向上	B
9	家庭・地域との連携協力体制の確立	B
10	学習環境の整備・校内環境美化	A

- 4については、児童アンケートの「人が困っているときは、進んで助けている。」は肯定的意見が低くC評価となりました。来年度は、道徳の時間などで授業意識的に取り上げていきたいです。道徳ノートには100%取り組んでいるので、今後も習慣化していきたいと思えます。
- 6の読書活動については、様々な教育活動によって少しずつ読書することは増えたものの、中間評価以降の取組ではB評価まで届きませんでした。年間を通じて、地道に取組を進め、読書離れを少しでも止めたいと考えています。
- 9は保護者とともに関心した「家庭生活の約束」について、達成率が児童93%保護者89%で、中間評価CからBに上がりました。学級懇談会や学級通信の話題にしたり、取組の意味も再確認したりしたことで意識が高まりました。

児童アンケートの結果



学校関係者評価委員の方から、貴重なご意見を頂きました。
2月17日(土)開催

①基礎学力の定着と学力向上について

- 児童・保護者アンケートを見ると、学習に対する意欲や習慣は身につけていると思う。
- 学力は石川県内でも上位なので素晴らしいと思う。
- 「学んだことを使って、外の場面に生かすことができた」との質問に答えるのは、低学年になるほど実感しにくいのではないと思う。
- 家庭学習も目標は、宿題だけで終わる子はいかに集中して時間内で終わらせ、宿題+αの学習になるよう、方法やコツを保護者と話し合ってみてもよいと思う。

②基本的な生活習慣の確立・豊かな心の育成・いじめ対応・体力の向上について

- 学年(上下関係)がなくみんな仲良しなのは良いと思う。
- 縦割り班の仕組みは、子どもたちの心の成長や、いじめが無いことにつながっていると思う。
- 道徳教育に関する事で、特に低学年の児童については、「困った時に、自分から協力を求める」事も、大事だと思う。

③保健・安全管理について

- 早寝・早起きの意識づけを、これからも続けて欲しい。
- 今年度はインフルエンザ検査の反応が鈍く、「かくれインフル」がいて、学校全体に広まったかもしれないので、対処法を考えた方がよいのでは。
- 学校内は大変きれいで、整理整頓されていた。
- 児童の起床時間がはやいことにびっくりした。

④その他、気付かれたことやご意見など

- 行事後の振替休日について・・・授業に遅れなどがある場合は、振替休日の有無を考えてもよいと思う。
- 読書についての項目は、毎年「C」などの低い判定ではないでしょうか。高判定を求めるわけではないが、児童の現状や、社会の様子を考えれば、冊数や頁数を考え直す時期ではないか。
- 時々登下校の様子や、私服で遊んでいる様子を見かけますが、大変仲良く過ごしている様に思え、ほほえましく感じる。
- 特色ある教育活動の写真をみると、小学生は「いそがしいなあ」と思う。
- いつも学校便りなど届けてくださりありがとうございます。先日など、孫をおんぶして散歩帰りの私と通りで出会い、手渡してくれました。「町中で私の姿を見つけてくれたんだ。」と嬉しかったです。
- 家庭生活の約束を決める時、高学年ぐらいになると、子どもと一緒に決めていくと、意識づけもできるのでは。
- ほとんどの子どもが、学校で学ぶことが楽しく感じ、意欲的に登校していることは、とても嬉しく思う。これも、先生方のお蔭です。ありがとうございます。

